

ミニレター

# あぜみち通信

\* \* \* \* \*

平成 2 1 年 1 1 月 1 日

1 0 7 号

編集・発行：愛知県農業会議

## 出版企画代表委員・同補佐会議が開催されました。

愛知県農業会議は、平成21～22年度に全国農業図書出版の出版代表企画委員・同補佐(東海ブロック)を担当しています。

11月5日に補佐会議が、15日に代表企画委員会会議が東京で開催されました。

今年度下期の刊行計画、普及推進方策などを協議し、本年度は農地法等改正、政権交代に伴う補正予算執行停止、来年度予算の概算要求方式の変更などの影響を受け、刊行予定等に大きな変更を余儀なくされています。

改正農地法等政・省令が固まり次第、早急に刊行に向けて取り組む体制が整えられています。また、補正予算の執行停止により、事業関係冊子の刊行の進捗が滞っていますが、逐次刊行が準備されています。

現在、全農図書出版では、全国の売上5億円を目指した第3次中期目標を検討しています(本県目標は1,380万円)が、戸別所得補償制度、米対策など農家に確かな情報を的確に伝達する出版事業の必要性は、ますます高まってくるものと考えられます。

農業委員会常備図書の整備、農業委員必携図書、事業の内容をコンパクトに説明したリーフレット、パンフレットの一層の活用をお願いします。

農業委員会の来年度事業計画を検討するにあたっては、事業推進や、啓蒙活動などに全農図書出版の活用を取り入れてください。

## 平成21年度中日本ブロック農業委員会職員現地研究会が開催されました。

10月1日から2日にかけて、大阪市内のホテルアウィーナ大阪において全国農業委員

会職員協議会及び大阪府農業委員会職員協議会主催の研究会が開催されました。

1日は、農林水産省経営局構造改善課南里係長を講師に「農地法等改正法について」をテーマに説明がありました。

この中で、当面の情勢として、次のことが報告されました。

現在、省内で政令・省令・ガイドライン（自治事務）・事務処理基準（法定受託事務）の案を作成中であり、10月中にパブリックコメントを募る。

農業委員会関係者には、情報をなるべく早く流し、予算も十分措置したいと考えているので、農業委員会の体制整備を前倒しでお願いします。

特に、農業委員会総会等の議事録の点検・検証として、議事録の適正化を図ることとし、(1)審査基準のすべての項目ごとに区分し判断根拠を明確化すること、(2)議事録は、要約することなくすべてを詳細に記載すること、(3)議事録を公開することの3つの徹底する。

先に、全国1,793農業委員会に対して、本省への提出をお願いしたところ、1,409農業委員会（78.6%）から提出があったものの、384農業委員会（21.4%）は未提出であった。内容的には、提出のあった1,409農業委員会のうち1/4はしっかり議論されているが、3/4は疑問が残る内容である。

今後取り組みの徹底を図り、10月中に文書を発出する予定であり、最終的には議事録が未提出の農業委員会名を公表することも考えている。

また、全国農業会議所伊藤農地・組織対策部長から「農地法等改正法施行に向けた組織対応等について」の説明がありました。その後、農地法改正に伴う質疑が活発に行われました。

2日は、「中津川市における遊休農地対策(岐阜県中津川市農業委員会)」、「遊休農地対策 アグリこなもんや会の取り組み(滋賀県大津市農業委員会)」、「農業サポーター制度を活用した遊休農地対策(大阪府箕面市農業委員会)」の事例報告がありました。

その後、情報提供として全国農業会議所から「全国農業新聞・全国農業図書の普及推進について」の講演がありました。

**愛知県担い手育成総合支援協議会スペシャリスト会議を開催しました。**

愛知県担い手育成総合支援協議会は、10月6日白壁庁舎において「スペシャリスト会議」を開催しました。

愛知県担い手育成総合支援協議会は、公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士及び弁護士の18名を「スペシャリスト」として委嘱しており、このうち12名が出席されました。

会議では、平成20年度に各スペシャリストに協力していただいて開催した経営管理能力向上研修会、経営診断・相談会の状況報告及び意見を願いし、平成21年度経営相談・診断指導計画を説明して協力を要請しました。

今年度は、認定農業者及び認定志向農業者の研修として、若者向け経営管理能力の向上、経営改善のポイントなど現地の要望に沿った研修計画を立てており、今後、現場とスペシャリストとの調整を行って実施していくこととしました。

その後、認定農業者を中心とした農業経営の改善方策について堤主任専門員（農総試）から、法人化へのステップや稲作部門を中心に大規模経営体の現状分析の話題提供があり、構成員相互で具体的な意見交換がなされました。また、酪農での経営移譲について、スペシャリストから乳牛を経営移譲する場合、乳牛を後継者に売却したことにより消費税が必要となるが、何か良い対処方策がないかなど問題提起がなされました。

#### **常任会議員会議（10月）の審議状況**

農地法に係る諮問に関する常任会議員会議を10月16日に開催しました。

農地法第4条に基づく転用事案 43件(平成20年10月 36件) 15,709㎡(同 15,412㎡)及び第5条に基づく転用事案 280件(同 328件) 229,868㎡(同 349,049㎡)に係る諮問について審議し、何れも諮問のとおり許可されることは差し支えない旨知事あてに答申することが承認されました。また、春日井市長からの土地区画整理法第136条に基づく諮問(関係農地面積 511,414㎡)について審議し、諮問のとおり事業計画を定めることは差し支えない旨答申することが承認されました。

事務局長から、平成22年度農林水産省関係(農委関連)概算要求状況、来る12月の農業委員会代表者集会(東京)、農地法等改正法の施行見込み及びその研修のための全農図書の活用について、報告等を行いました。

#### **全国ニューファーマーの集い in 静岡に参加しました。**

10月16日静岡県伊豆の国市葦山時代劇場で、400人を超す農家や関係者が集い、農外から新規就農したニューファーマーの全国的規模の集会在初めて開催されました。

受入れ側として、(有)トップリバーの嶋崎社長、(株)サラダボウルの田中社長が事例発表し、静岡県の新規就農者2人が就農事例発表を行いました。

新規就農者にとっては、生産物をいかに出荷するか、その道筋を築き上げるまでが大変です。パネラーへの質問は、販路開拓などの話題が集中し盛り上がっていました。

#### **平成21年度農政・農地主任者合同ブロック会議(中日本)が開催されました。**

10月15日から16日にかけて、福井県福井市内の「福井県水産会館」において 全国農業会議所主催による合同ブロック会議が開催されました。

この会議において、改正農地法等政令・省令など最新の情報提供、改正農地法等施行に向けた対応方針等、農業委員会関係予算の概要と確保及び農政状況について具体的な説明がありました。

この中で、農地法等の改正に伴い農村現場で農地制度の運用にあたる農業委員会の役割が重要になることを踏まえ、22年度の農業委員会関係予算のうち、農業委員会費補助金を20億4千万円(21年度6千万円)、農地の利用集積を図るための農地有効利用支援事業として19億4千万円(特会・新規)[標準事業費として市町村100万円、都道府県300万円]を概算要求しているとの情報提供がありました。

また、政令・省令等の改正内容に対する意見交換が行われ、調整を要する意見等は農林水産省と協議することとなりました。

#### **碧南市農業委員会会長 禰亙田育男氏に農林水産大臣賞が授与されました。**

碧南市農業委員会会長禰亙田育男氏は、10月15日に農林水産大臣賞を受賞され、10月20日に愛知県農林水産部の永田部長から賞状が伝達されました。

禰亙田氏は、昭和56年7月20日から碧南市農業委員会選挙委員として、また平成5年7月20日から碧南市農業委員会職務代理、平成14年7月20日からは碧南市農業委員会の会長として、農業委員会事業の推進及び地域の担い手・認定農業者の育成や耕作放棄地の発生防止・解消に向け、農業振興に大きな役割を果たしてこられたことが高く評価されました。

#### **愛知県市部農業委員会会長会秋季定例総会が開催されました。**

平成21年度愛知県市部農業委員会会長会(会長：寺島正名古屋市農業委員会会長)の秋季定例総会が10月28日に清須市のキリンピアパーク名古屋ゲストホールで盛大に開催

されました。

総会には35市の農業委員会会長等が一堂に会し、三好町の市政施行に伴い平成22年度からの加入及び平成22年度収支予算がそれぞれ承認された後、意見交換として「市街化区域における農地転用再届出について」を北名古屋市農業委員会から問題提案され、弥富市農業委員会会長から取り組み状況が報告されました。

また、愛知県農林水産部食育推進課知崎主幹から「食育の推進について」の情報提供され、午後から現地視察が行われました。

総会の開催に先立つ常任委員会が10月15日に名古屋市内で開催され、市部農業委員会会長会秋期定例総会の運営計画、市部農業委員会会長会開催計画について協議が行われた後、農業会議烏居主査による「農地制度の見直しについて」をテーマに、農地制度の見直しの概要及び農業委員会において改正農地法等施行前に実施する事務などについて説明した後、相続納税猶予制度や農地基本台帳の調査など活発な質疑が行われました。

#### **愛花協だより（知事お祝いメッセージ、会長色紙贈呈）**

ご結婚おめでとうございます。一層のご活躍とご多幸を祈ります。

小牧市	竹内欣平さん・三奈さん	（9月5日挙式）
豊川市	長坂祐司さん・裕子さん	（9月5日挙式）
小牧市	山中巧司さん・美典さん	（9月12日挙式）
田原市	河合龍二さん・みかさん	（9月26日挙式）
名古屋市	田中浩二さん・佳代さん	（10月10日挙式）
春日井市	鈴木大介さん・里恵さん	（10月18日挙式）
半田市	青木邦宏さん・華代さん	（10月24日挙式）

#### **今後の主な行事予定**

- 11月 4日（水）都道府県農業会議事務局長会議（東京）
- 11月 5日（木）農業経営士・青年農業士・生活アドバイザー認定式（県農大）
- 11月 6日（金）農地法説明会（名古屋市能楽堂）
- 11月10日（火）農地法説明会（アイリス愛知）
- 11月12日（木）全国農業図書 下期ブロック会議（東京）
- 11月12日（木）農地法等改正法政省令等説明会（東京）
- 11月13日（金）全国農業委員会会長会議（東京）

- 1 1月16日(月) 常任会議員会議(白壁庁舎)
- 1 1月27日(金) あいちアグリアワード表彰式(メルパルク名古屋)
- 1 1月30日(月) 農業委員会活動評価検討会(白壁庁舎)
- 1 2月 2日(水) 農業者年金加入推進セミナー(東京)
- 1 2月 3日(木) 全国農業委員会会長代表者集会(東京)

### 新刊図書(全国農業会議所)

農業法人の会計と税務	単価	3,500円
勘定科目別農業簿記マニュアル(平成21年度版 青色申告から経営改善につなぐ)	単価	1,700円
四訂 はじめてのパソコン農業簿記	単価	2,000円
平成21年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制		
	11月第1週刊行予定	単価 700円
農業生産法人手続きマニュアル ~設立・変更から精算終了まで~		
	12月中旬刊行予定	単価 3,500円

### 改訂・新版を刊行する図書

- 農地制度が変わります!(リーフ) 12月にタイトルを替えて「新版」を刊行予定
- 農地の利用でお悩みの皆さんへ 12月にタイトルを替えて「新版」を刊行予定
- 三段対照式農業委員会・農地関係法令集 21年度中に「第2版」を刊行予定(時期未定)
- 農業委員会制度のあらまし 第13版 12月に「第14版」を刊行予定
- 農地の貸借・売買と農作業受委託(リーフ) 12月にタイトルを替えて「新版」を刊行予定
- 三訂 農業経営基盤強化促進法の解説 「四訂版」を刊行予定(時期未定)
- 農地の法律早わかり 第5版 タイトルを替えて「新版」を刊行予定(時期未定)
- 四訂 農地の法律がよくわかる百問百答 「五訂版」を刊行予定(時期未定)
- 新訂 よくわかる農地の法律手続き~農地法関係判例付~ 「改訂版」を刊行予定(時期未定)
- はじめての人のための絵や図で見る農地制度 「改訂版」を刊行予定(時期未定)
- なくそう! 農地の無断転用(リーフ) 12月に「第2版」を刊行予定
- 農地の転用をするときは農地法の許可が必要です(リーフ) 12月に「第2版」を刊行予定
- 三訂 わかりやすい農地転用許可制度の手引(リーフ) 「四訂版」を刊行予定(時期未定)
- 三訂 農地転用許可・農業振興地域制度マニュアル 「四訂版」を刊行予定(時期未定)
- 農業振興地域制度のあらまし(リーフ) 「改訂版」を刊行予定(時期未定)